

「金沢湯涌創作の森 湯涌クリエイティブ2016 夏期特別展」

# パレスチナのハート アートプロジェクト

子どもたちによる作品展

「僕は絵を描いたことがなかった」

入場無料

2016.

7/16 sat — 9/25 sun

10:00~17:00 火曜休館

金沢湯涌創作の森ギャラリー(版画工房2F)

紛争地を追われ、ガザ地区や隣国レバノンの難民キャンプに暮らすパレスチナの子供達。「パレスチナのハート アートプロジェクト」とは、時に天井の無い刑務所とも呼ばれる、支援のない抑圧された環境での生活を余儀なくされてきた子どもたちのために、2001年以来、不定期に開催されている日本人有志による造形ワークショップと作品展示活動の名称です。“それでもがんばる”子どもたちの自由な発想、様々な表現をご覧ください。

主催:パレスチナのハート アートプロジェクト  
金沢湯涌創作の森(公益財団法人金沢芸術創造財団)

**創** 金沢湯涌  
創作の森



それでもがんばっています♡



関連企画

映画上映

「ぼくたちは見た  
—ガザ・サムニ家の子どもたち—」

7月17日(日)13:30~15:00 会場:金沢湯涌創作の森交流研修棟 / ★入場無料

# パレスチナのハートアートプロジェクト

子どもたちによる作品展  
～僕は絵を描いたことがなかった～

「絵を描いたことがない子がいるのよ」

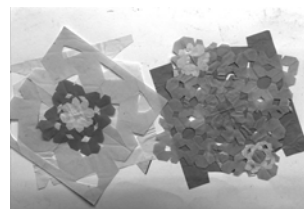
2001年より現地での造形ワークショップ活動を行っているパレスチナのハートアートプロジェクト代表で、ご自身が画家でもある上條陽子氏から初めてこの言葉を聞いたとき、しばしの間、その意味が判らずにいた。

学校での図工とか美術とか言う以前に、子どもは見たもの、聞いたものや自分の周囲との関わりの延長として、遊びながらそれらを描くくらいのは当然するものと思っていたからだ。もし、このあたりまえの所作が奪われているのだとしたら、子どもたちはいったいどのように自分のいるこの世界を眺め、認識し、確かめてゆくのだろうか？

普段、難民キャンプでは手に入らない絵の具やクレヨンを手にするパレスチナの子どもたちはしかし、絵を描く時間が本当に&心底楽しそうなのだという。そりゃそうだ！クレヨンをこすればそこにはすぐに線が、絵の具を塗ればみるみるうちに鮮やかな色が出現するのだから。自分自身の手を動かして、見ているものや知っていること、感じる気持ちを目の前に「自由」に描き出すことができるのだから!! そう、絵の具やクレヨンで何でもできるのだ。

とはいえこのような「自由」は、本来であれば取り立てて言うほど大袈裟なことではない。自分が自分になるための、自分が自分であるための、あらかじめ与えられたそもそも人には所与の仕草だ。しかしこの嬉しくて楽しい絵を描くという行為が、場合によっては、人間が人間の尊厳を守るための、小さな、無意識の闘いの場でもあるのだと、今あらためて気づかされる。

(黒澤 伸 金沢湯涌創作の森所長)



地中海周辺から見たレバノン、パレスチナ地図



関連企画 映画上映とトーク 7月17日(日) 会場:金沢湯涌創作の森 交流研修棟 / 入場無料

第1部:映画上映会 13:30~15:00

## 「ぼくたちは見たーガザ・サムニ家の子どもたちー」

(2011年/監督 古居みずえ)

2008年から09年にかけてのイスラエル軍によるパレスチナ・ガザ地区への攻撃。本作の監督であるジャーナリスト・古居みずえは直後に現地に入り、300人以上の子どもたちが犠牲になっていたことに大きなショックを受け、取材を始めた…。



第2部:トークイベント 15:00~16:30

## 「私たちが見たガザ・パレスチナの子どもたち」

講師 上條陽子

美術家・パレスチナのハートアートプロジェクト代表

1999年、自身の展覧会開催のために初めてパレスチナを訪れたのがきっかけとなり、2001年から有志とともにレバノンのパレスチナ難民キャンプで子どもの絵画指導を始める。現地で見ると子どもたちの様子は…。



## 金沢湯涌創作の森



〒920-1135 石川県金沢市北袋町E36番地 ☎ 076-235-1116  
http://www.sousaku-mori.gr.jp fax. 076-235-1070

交通のご案内 JR「金沢駅」よりタクシー約35分。北鉄バス「湯涌温泉行き」約45分～「創作の森前」下車、徒歩5分。北陸自動車道「金沢森本」・「金沢西」の各インターよりいずれも約20km約45分。駐車場100台(無料)

